

# できた奇跡の島

## ここは、サンゴ礁研究の聖地

喜界島の隆起速度は世界トップレベルで、50年以上前から研究されてきた国際的にも希少な島です。サンゴ礁研究のフィールドとして、パプアニューギニア(南太平洋)・バルバトス(大西洋)に並ぶ世界の3本指に入るサンゴ礁研究の聖地として知られています。現在は、サンゴ礁科学研究所を拠点に国内外の研究者・学生が集まり、精力的に研究をおこなっています。



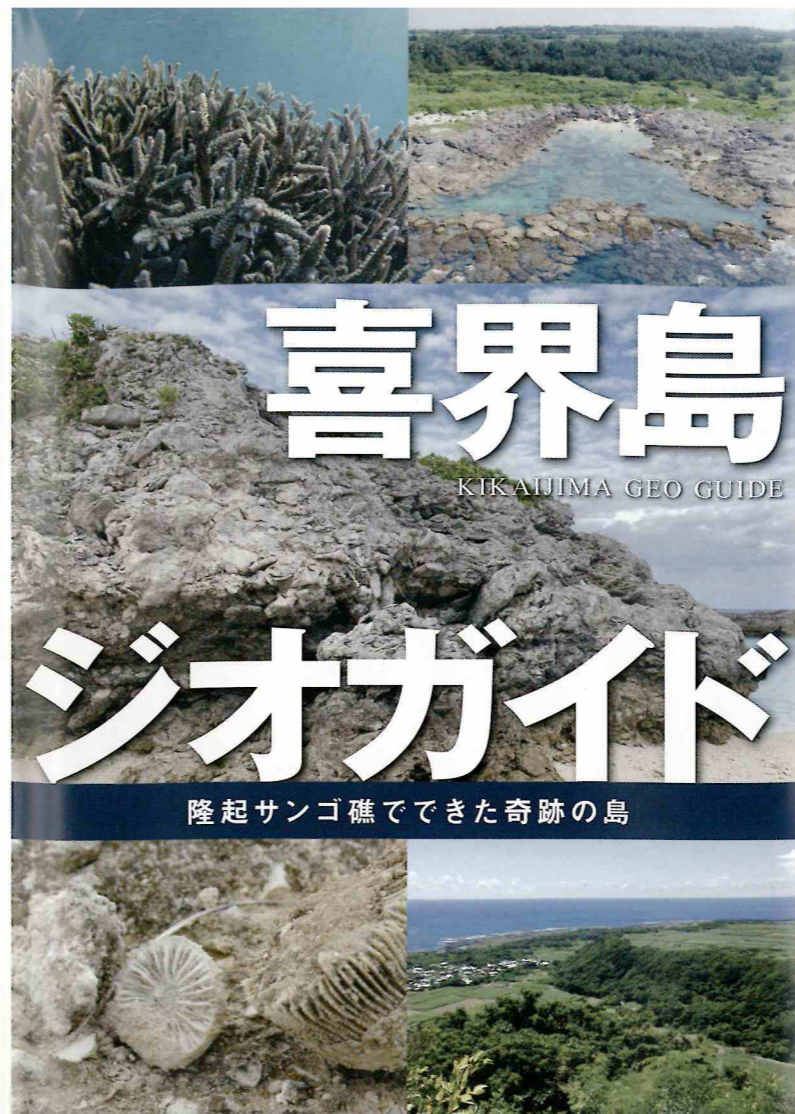
サンゴ礁が海から陸に上がってきた奇跡の島で地球の記憶を巡る旅に出かけよう。

## NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所

サンゴ礁の環境を再現した水槽・展示をご覧になれるサンゴミュージアムを併設しています。



〒891-6151 鹿児島県大島郡喜界町大字塩道1508  
 (ホームページ) <http://kikaireefs.org>  
 ミニジオツアー(有料)受付中  
 お問い合わせTEL ☎0997-66-0200 喜界島サンゴ礁科学研究所 KIKAI Institute for Coral Reef Sciences



# 喜界島

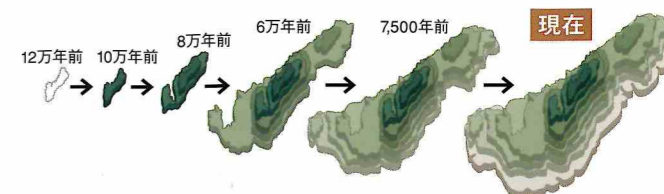
KIKAIJIMA GEO GUIDE

# ジオガイド

隆起サンゴ礁でできた奇跡の島

# 隆起サンゴ礁で

## 喜界島ができるまで



## 喜界島は昔、海の底にあった

地殻変動により海底が隆起し、浅い海となった所にサンゴが住みつき、サンゴ礁を形成したのが喜界島の始まりです。その後、さらに隆起して海の中にあったサンゴ礁が島になりました。それから10万年間、隆起するたびに島の周りにサンゴ礁が広がり、また隆起する…というのを繰り返して現在の喜界島の形になりました。

# 喜界島を知る

# 3つの

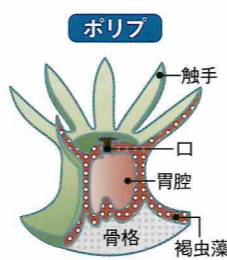


# 見どころ

## 今を生きる豊かなサンゴ

### サンゴはどんな生き物?

サンゴはインゲンチャクと同じ刺胞動物の仲間です。中でも造礁サンゴは、体の中に褐虫藻を共生させて、その光合成からエネルギーをもらい、石灰質の骨を作ります。このように、サンゴは「動物」ですが、光合成をするなど「植物」としての性質を持ち、さらに石灰質の骨を作る「鉱物」としての性質も持つおもしろい生き物です。



### 豊かなサンゴの海



喜界島の海の中にも色とりどりのサンゴたちが息づいています。その種類は、同じ奄美群島の徳之島で220種類が生息すると報告され、喜界島でも何種類のサンゴが住んでいるのか研究が進められています。

### サンゴの一生



サンゴはバンドルという卵と精子が入ったふくらみを出します。ふくらははじめて受精しプラヌラ(あかちゃん)になります。プラヌラは住みやすい場所をみつけて岩に付着しポリブになります。太陽や海水の養分を取り込んで硬い骨をつくります。サンゴは分裂して数を増やし群体をつくります。

## サンゴがつくる地形

### サンゴ礁

サンゴをはじめとした、生き物の骨や殻が堆積し、長い年月をかけて作り出された地形です。そんなサンゴたちが作り出すサンゴ礁は、多くの生き物の住みかとなり豊かな生態系を支えています。



サンゴ礁の地形は、少し凹んだ礁池と自然の防波堤である礁嶺がつくる平らな面と、その先の斜面(礁斜面)から構成されています。隆起によって海面から陸に現れたサンゴ礁を「隆起サンゴ礁」と呼びます。



### サンゴ礁段丘

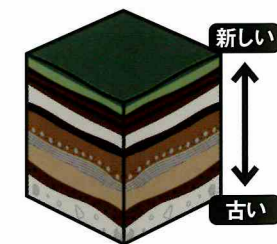
海面変化と島の隆起で持ち上げられたサンゴ礁が作る階段状の地形です。平らな面(段丘面)はサンゴ礁の平坦面、急な崖(段丘崖)は礁斜面に対応しています。



## 島をつくる地層

### 地層とは?

島の地形を作り出しているのが、内部を構成する「地層」です。「地層」とは岩が砕けてできた礫・砂・粘土、火山の噴火による火山灰など、そして生物の遺骸である化石が積もることによってできた層状の重なりです。



### 喜界島を形づくる地層

#### 島の基盤(泥岩)

**島尻層群** (170万年前以前) 島の基盤となる地層です。大陸から運ばれた細かい土砂でできています。

#### 島の表層(石灰岩)

**琉球層群** (約7,500年前以降) サンゴなどの化石からできた石灰岩。年代と固さなどの違いから下部の百之台層(40~85万年前)と上部の湾層(4~15万年前)に2分されます。

**隆起サンゴ礁** (約7,500年前以降) サンゴ礁が持ち上がり、島全体を取り巻いています。

#### 喜界島の地形・地質断面図

